



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2015年3月期 通期連結決算説明会

大陽日酸株式会社
2015年5月12日

目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2016年3月期 通期連結業績予想
5. 中期経営計画 進捗状況



目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2016年3月期 通期連結業績予想
5. 中期経営計画 進捗状況



2015年3月期 通期連結業績

単位：億円

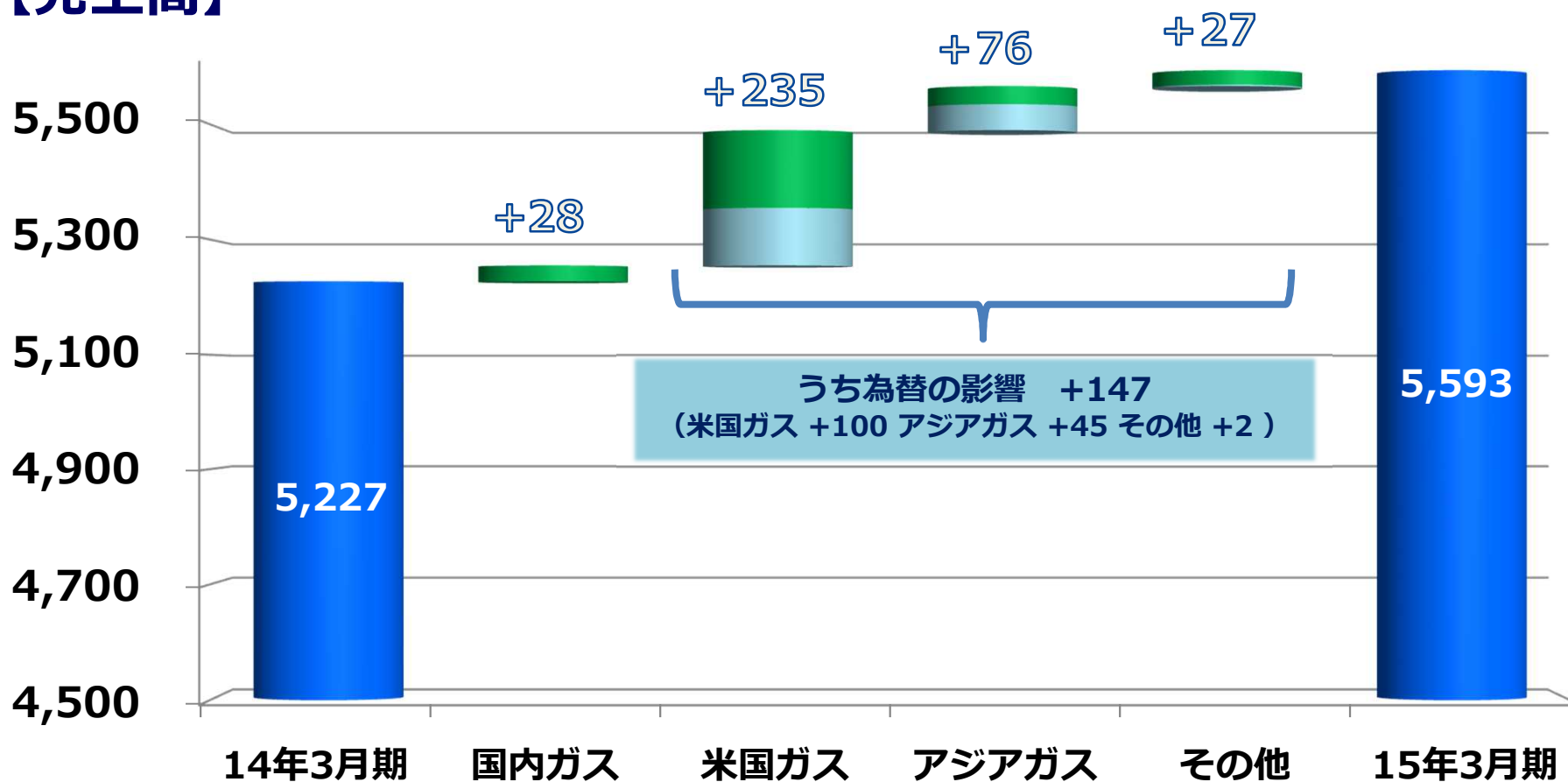
	14年3月期 利益率	当期 (公表値) 利益率	15年3月期 (実績) 利益率	前期比 増減率
売上高	5,227	5,500	5,593	+366 +7.0%
営業利益	314 6.0%	350 6.4%	352 6.3%	+38 +12.1%
経常利益	305 5.8%	332 6.0%	342 6.1%	+37 +12.2%
当期純利益	201 3.9%	200 3.6%	207 3.7%	+5 +2.8%

- 当初予算を達成、前期比で増収増益
- 営業外損益が上振れし、当期純利益が増加



前期比 増減分析（1）

【売上高】

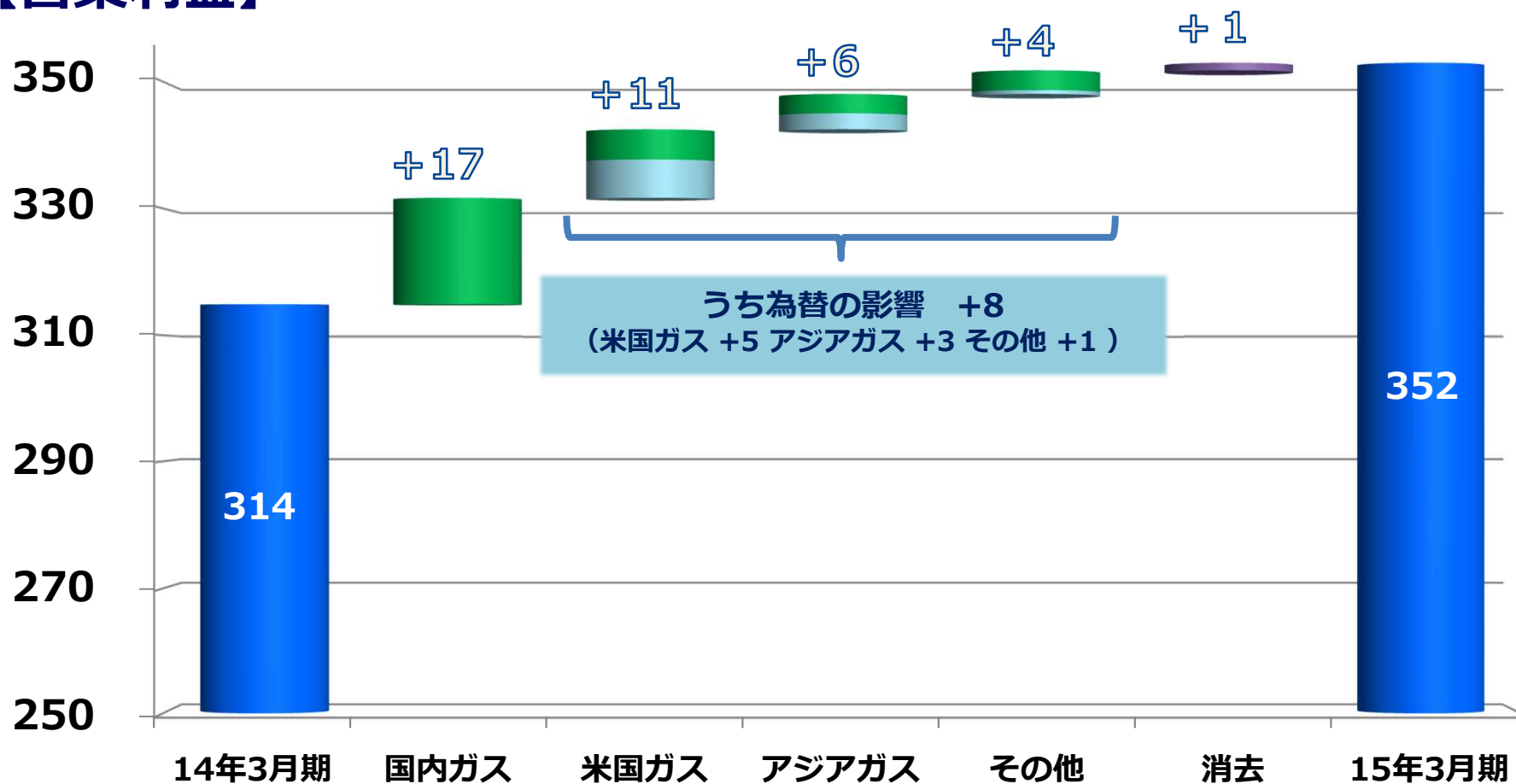


- 需要回復の遅れにより、国内は微増
- 米国、アジアにて着実に成長



前期比 増減分析（２）

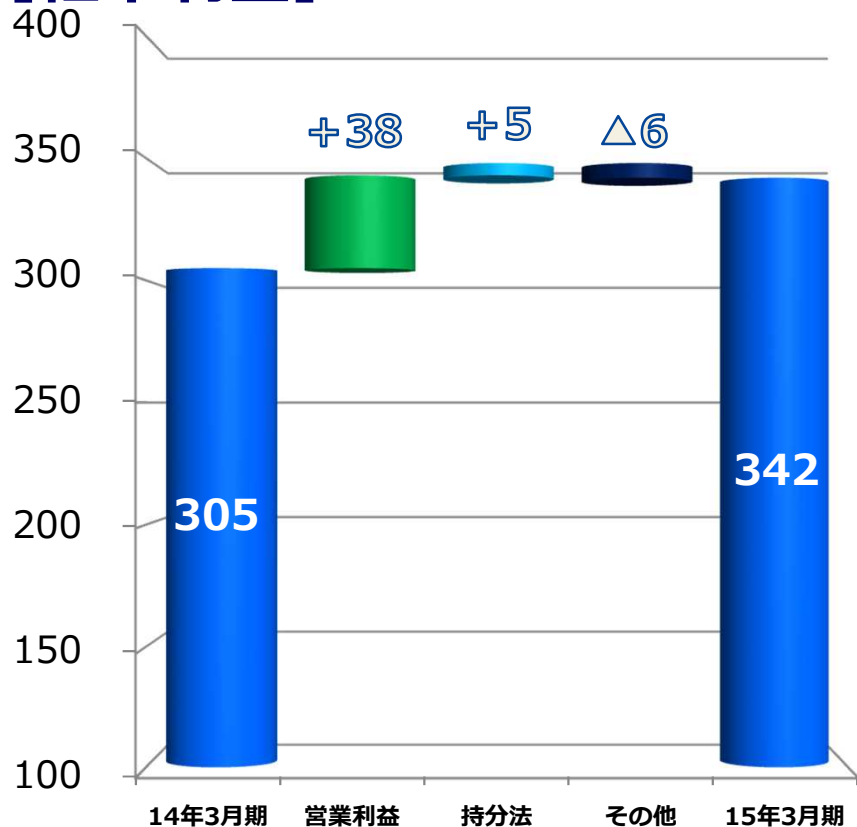
【営業利益】



- 国内事業は構造改革の効果等で増益
- 米国、アジア、その他事業にて着実に成長

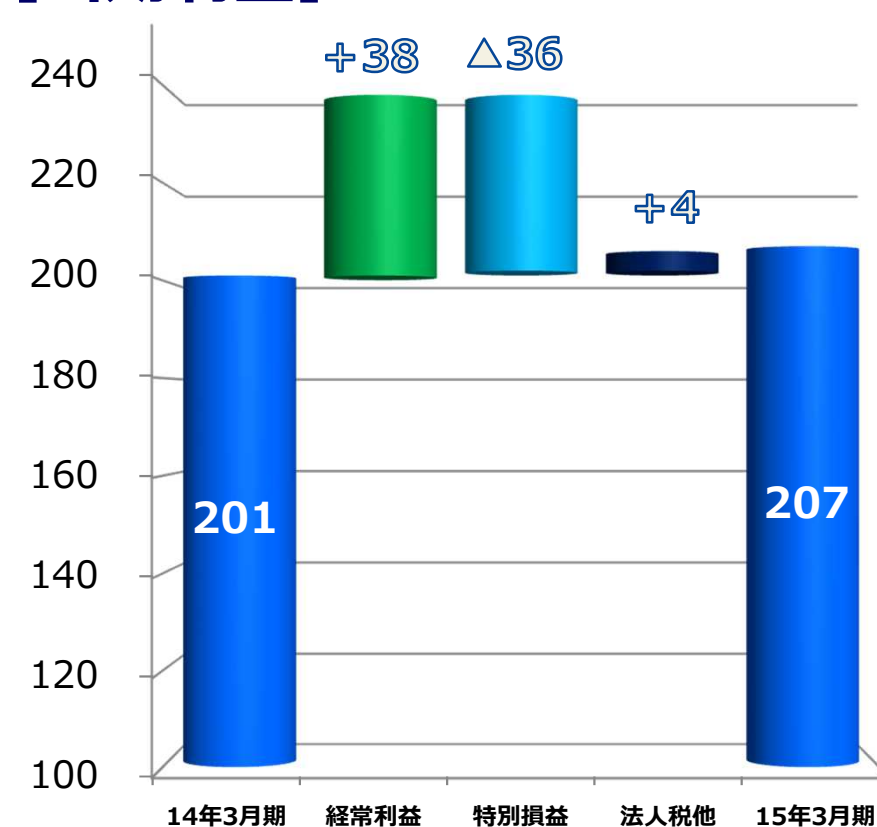
前期比 増減分析 (3)

【経常利益】



- サーマス関連会社の持分法による投資利益の増加

【当期利益】



- 特別利益
(前期 75億円 → 今期 25億円)
- 特別損失
(前期 37億円 → 今期 23億円)

2015年3月期 その他決算数値

単位：億円

	14年3月	15年3月	増減
総資産	7,316	7,823	+507
自己資本	2,743	3,172	+429
純有利子負債	2,197	2,128	69
ネットDE/レシオ	0.80	0.67	0.13

為替換算影響などにより大幅増加

有利子負債の削減と、為替換算調整勘定の増加等による自己資本の増加により、ネットDEレシオは改善

	14年3月	15年3月	増減
設備投資	325	352	+27
投融資	357	57	300
減価償却費	371	405	+34
（うち、のれん償却費）	36	49	+13
研究開発費	31	34	+3
FCF（投資活動）	14	280	+266

前期にコンティネンタルカーボニックプロダクツ社などの大型M&Aを実施

前期対比で大型投融資が減少したため、FCFは増加



目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2016年3月期 通期連結業績予想
5. 中期経営計画 進捗状況



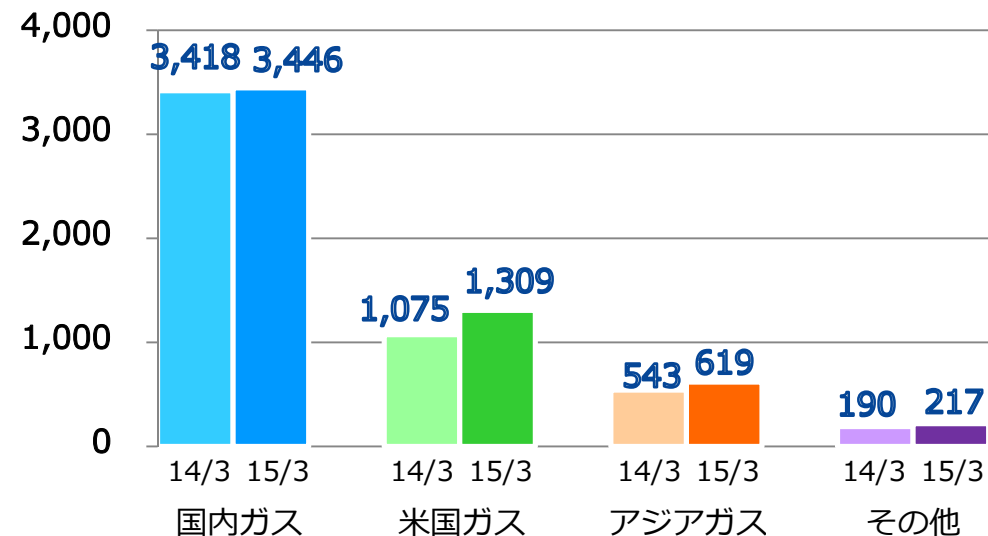
セグメント情報 売上高・営業利益内訳

【売上高】

単位：億円

	14/3月期	15/3月期	増減率
	通期	通期	
国内ガス事業	3,418	3,446	+0.8%
米国ガス事業	1,075	1,309	+21.8%
アジアガス事業	543	619	+14.1%
その他事業	190	217	+14.5%
売上高 計	5,227	5,593	+7.0%

【売上高】

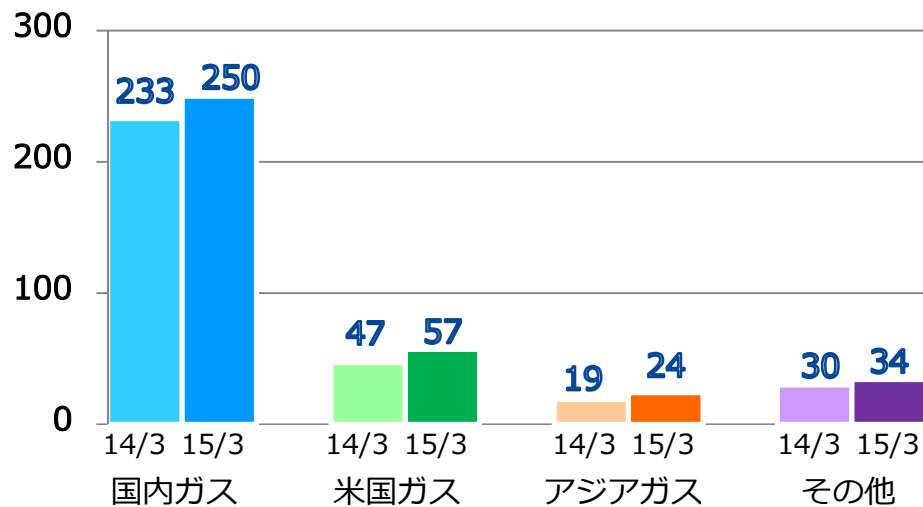


【営業利益】

単位：億円

	14/3月期	15/3月期	増減率
	通期	通期	
国内ガス事業	233	250	+7.2%
米国ガス事業	47	57	+22.9%
アジアガス事業	19	24	+29.1%
その他事業	30	34	+12.2%
消去又は全社	△15	△14	+7.6%
営業利益 計	314	352	+12.1%

【営業利益】



国内ガス事業

【売上高】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
産業ガス	バルク・オンサイト	1,315	1,340	+2.0%	>鉄鋼向けオンサイト堅調 >溶接関連機材好調 >プラントの売上げが4Qに増加 >新規連結効果および安定同位体事業好調
	パッケージ・ハードグッズ	324	340	+5.0%	
	機器・プラント	380	392	+3.2%	
	メディカル	219	244	+11.2%	
	産業ガス 計	2,239	2,318	+3.5%	
エレクトロニクス	ガス	505	515	+1.8%	>電子材料ガス好調 >機器工事、MOCVD装置で前期大型案件分が剥落
	機器・工事	227	219	△ 3.7%	
	エレクトロニクス 計	733	734	+0.1%	
エネルギー	ガス	408	360	△ 11.8%	>原油価格に連動し、LPG価格も下落
	関連機器	36	32	△ 9.8%	
	エネルギー 計	445	393	△ 11.6%	
国内ガス 計		3,418	3,446	+0.8%	

【営業利益】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
国内ガス 計		233	250	+7.2%	>合理化効果および電子材料ガス等の売上増に伴い増益

米国ガス事業

【売上高】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
産業ガス	バルク・オンサイト	264	413	+56.4%	>新規連結した炭酸ガス製造販売会社 コンティネンタルカーボニックプロダクツ社の寄与 >一般ガス、アセチレン、LPガスが好調
	パッケージ・ハードグッズ	749	838	+11.8%	
	産業ガス 計	1,014	1,252	+23.4%	
エレクトロニクス	ガス	44	43	△ 0.9%	
	機器・工事	16	14	△ 14.5%	
	エレクトロニクス 計	60	57	△ 4.6%	
米国ガス 計		1,075	1,309	+21.8%	>為替換算によるプラス影響 +100億円

【営業利益】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
米国ガス 計		47	57	+22.9%	>為替換算影響（+5億円）に加え、新規連結分はのれん償却額を上回る営業利益を計上

アジアガス事業

【売上高】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
産業ガス	バルク・オンサイト	153	156	+1.6%	◆シンガポールのLeedenNOX社が、買収効果に加え、既存事業も好調
	パッケージ・ハードグッズ	113	134	+18.3%	
	機器・プラント	86	85	△ 1.1%	
	産業ガス 計	353	376	+6.3%	
エレクトロニクス	ガス	171	223	+30.1%	◆台湾、中国、韓国で好調
	機器・工事	17	20	+14.6%	
	エレクトロニクス 計	189	243	+28.6%	
アジアガス 計		543	619	+14.1%	➤為替換算によるプラス影響 +45億円

【営業利益】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
アジアガス 計		19	24	+29.1%	➤為替換算影響（+3億円）に加え、エレクトロニクス事業好調による増益効果大

その他事業

【売上高】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
サーモス	国内	142	161	+12.8%	◆サーモス事業 ・国内では、新製品の売上げ好調に加え、 インバウンド需要あり ・海外では、韓国を中心に売上げ好調
	アジア	22	30	+37.3%	
	サーモス 計	164	191	+16.1%	
その他		25	26	+3.7%	
その他事業 計		190	217	+14.5%	

【営業利益】

単位：億円

		14/3月期 通期	15/3月期 通期	増減率	要因
その他事業 計		30	34	+12.2%	◆サーモス事業 売上増に伴い、利益増加

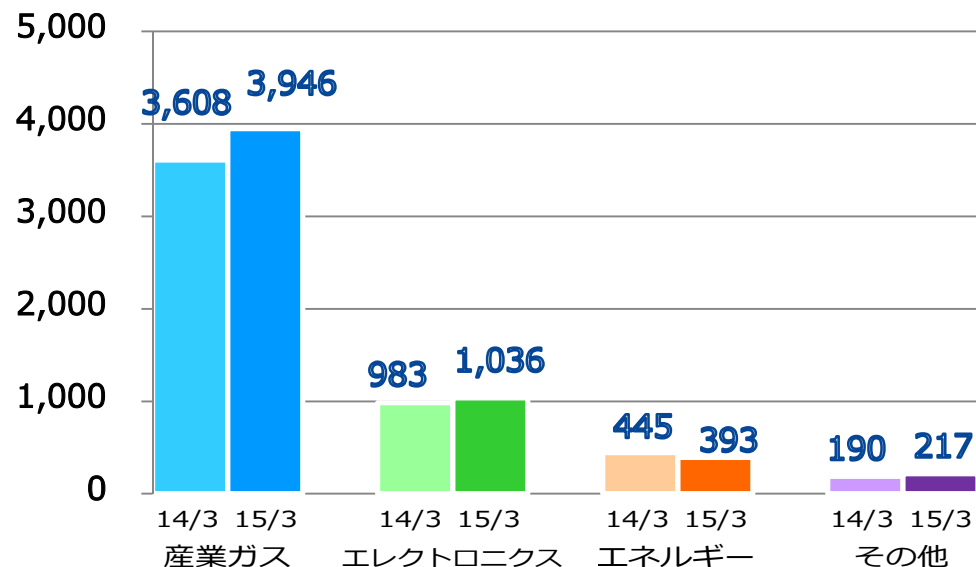
事業別セグメント 売上高・営業利益内訳

【売上高】

単位：億円

	14/3月期	15/3月期	増減率
	通期	通期	
産業ガス	3,608	3,946	+9.4%
エレクトロニクス	983	1,036	+5.3%
エネルギー	445	393	△ 11.6%
その他	190	217	+14.5%
売上高 計	5,227	5,593	+7.0%

【売上高】

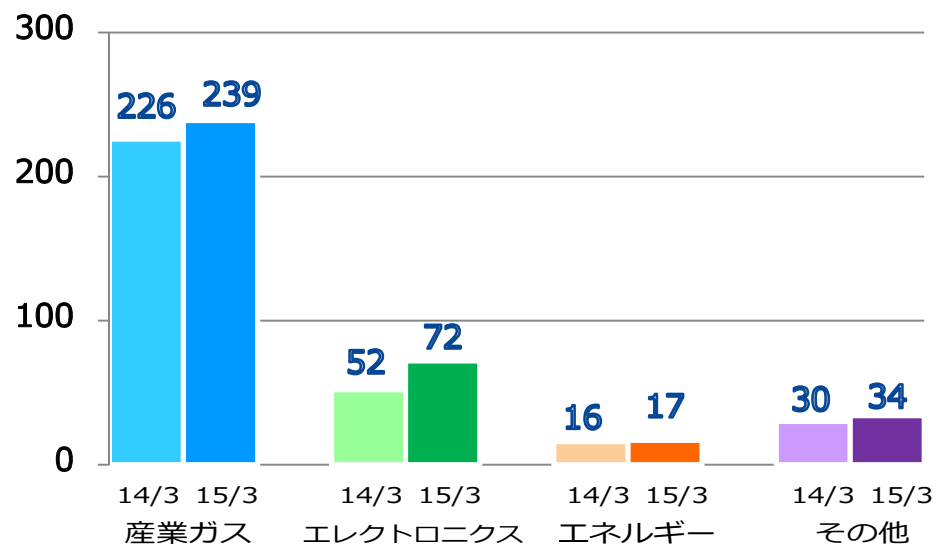


【営業利益】

単位：億円

	14/3月期	15/3月期	増減率
	通期	通期	
産業ガス	226	239	+5.6%
エレクトロニクス	52	72	+36.6%
エネルギー	16	17	+6.1%
その他	30	34	+12.2%
消去又は全社	△11	△10	+10.6%
営業利益 計	314	352	+12.1%

【営業利益】



目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
- 3. トピックス**
4. 2016年3月期 通期連結業績予想
5. 中期経営計画 進捗状況



トピックス

【国内】

- ◆SI商材の開発力強化
- ◆クライオライブラリー®アドバンス販売開始

【海外】

- ◆米国事業の拡大
- ◆フィリピン事業の拡大



SI商材の開発力を強化

- SIイノベーションセンターを新設し、水-¹⁸OをはじめとするSI（安定同位体）の新製品・新用途の研究開発体制を強化

概要

名称：SIイノベーションセンター

所在地：東京都多摩市

竣工：2015年4月

- 機能：
- 新製品・新用途の開発（同位体の応用 等）
 - 開発製品の製造（生化学合成 等）
 - 開発製品の品質管理、改良改善、技術サポート

SIメジャーの地位強化

SI事業の売上高目標：30億円（2017年3月期）



クライオライブラリー®アドバンス

- 細胞凍結保存システムの新製品「クライオライブラリー®アドバンス」を販売開始

クライオライブラリー®開発機と従来機との比較

	開発機 (アドバンス)	従来機 (CAPS-3000)
外形寸法(mm)	W1200*D1235*H1970	W1150*D1320*H2190
保存方式、温度	-150℃以下 (液体窒素気相保存)	
試料収納数	CAPS-A16000X 16,128本(1ccバイアル) CAPS-A10000X 10,368本(2ccバイアル)	3,128本(2ccバイアル)
液体窒素蒸発量 (容器単体)	5L/日	10L/日
停電時の温度保持	20日間以上	5日間程度



クライオライブラリー®アドバンス

凍結保存システム全体の売上高目標：15億円（2017年3月期）

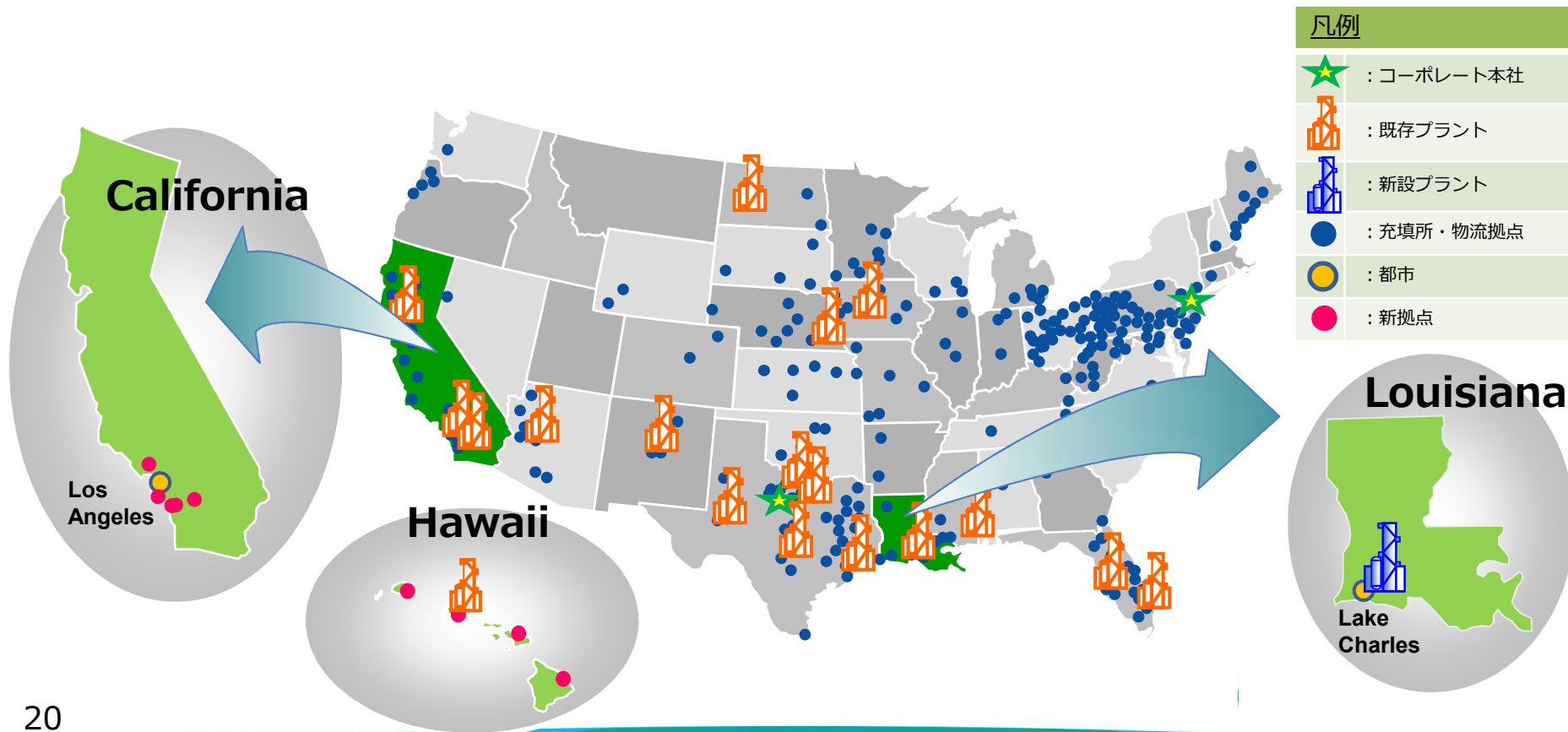
米国事業の拡大

1 カリフォルニア、ハワイでM & A実施

- 供給ネットワーク拡大戦略の一環として、成長市場であるカリフォルニアのディストリビューターを買収
- Air Liquideのハワイ事業買収により、米国18基目となるASUを獲得、事業拠点は43州に拡大

2 サソール向け大型パイピング

- 大型エタンクラッカープロジェクト向けにパイピングガス供給すると共に周辺地域に液化ガスを供給
- 供給開始：2018年
生産能力：3,600トン/日 (約100千Nm³/h)



フィリピン事業の拡大（1）

- クラーク地区にて、ルソン島で3基目（フィリピン全体では4基目）となる新プラントが完成

【設備概要】

設置場所：クラーク工業団地
生産能力：液化酸素 3,000Nm³/h
 液化窒素 7,000Nm³/h
 液化アルゴン 120Nm³/h
稼働開始：2015年4月

今後も市場の伸びが見込まれるルソン島北部の戦略拠点と位置付ける



フィリピン事業の拡大（2）

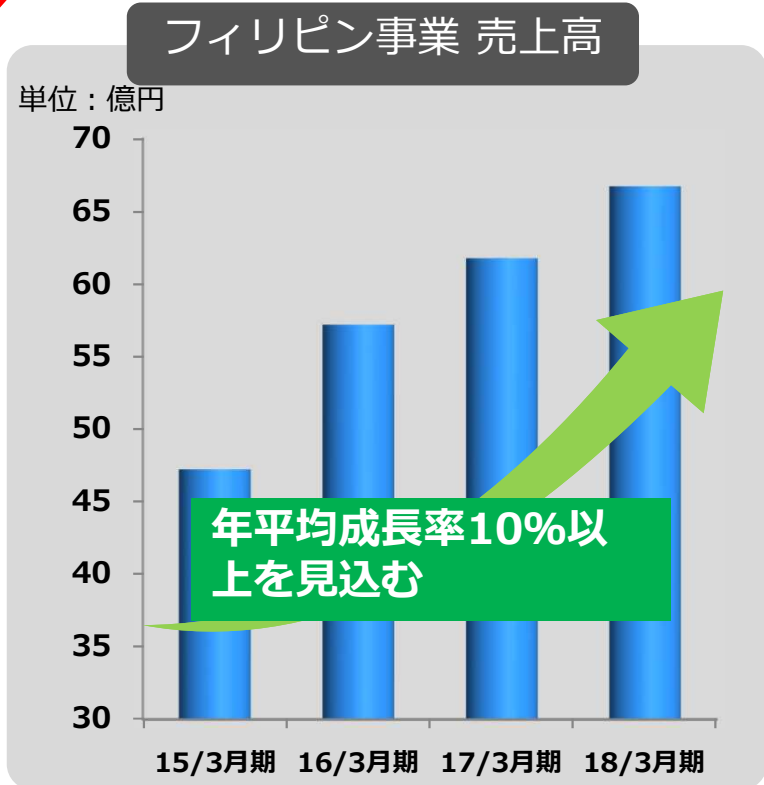
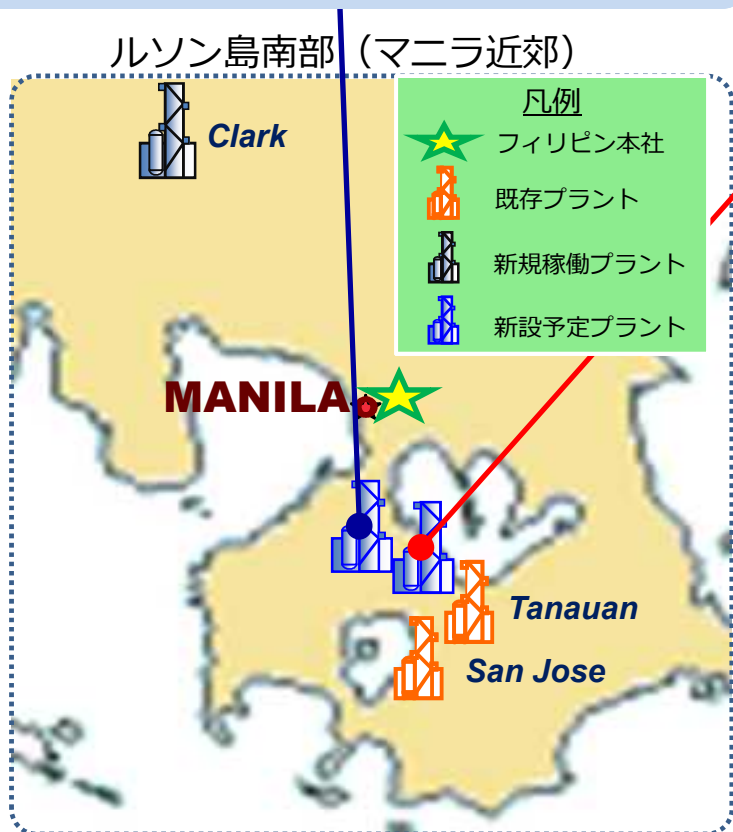
● 圧倒的なバックアップ能力を背景に次々と新規案件を受注

1 太陽電池パネルメーカー向け

供給先：外資系 太陽電池パネルメーカー
 供給形態：窒素ガスを新設プラントから
 パイピング供給
 供給開始時期：2016年7月（予定）

2 電子部品メーカー向け

供給先：外資系 電子部品メーカー
 供給形態：窒素ガスを新設プラントから
 パイピング供給
 供給開始時期：2016年8月（予定）



フィリピン事業の拡大（3）

- フィリピンにステンレス製魔法びん生産子会社を設立

社名：Vacuumtech Philippines Inc.
 設立：2014年7月
 生産開始予定：2015年12月
 生産能力：1,000万本/年
 投資金額：約39億円



【新工場完成予定図】



工場名	立地	生産品目
Thermos (China) Housewares	中国江蘇省 昆山市	幅広い商品
Thermos (Jiangsu) Housewares	中国江蘇省 淮安市	中国、欧米向け商品
Top Thermo Mfg.(Malaysia)	マレーシア セランゴール州	超軽量コンパクト品
フィリピン新会社	フィリピン バタンガス州	超軽量コンパクト品

THERMOS[®]
 QUALITY SINCE 1904



TAIYO NIPPON SANSO
 The Gas Professionals

目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
- 4. 2016年3月期 通期連結業績予想**
5. 中期経営計画 進捗状況



2016年3月期業績予想

国内ガス事業

- 産業ガス市場は緩慢な回復にとどまると予想
- 水素ステーションをはじめとする新規商材の拡販を目指す
- 構造改革による収益改善に継続して取り組む



米国ガス事業

- 旺盛な需要が見込まれる地域でのプラント新設を検討する
- 炭酸ガス、アセチレン事業の販売網を西部地域に拡大する



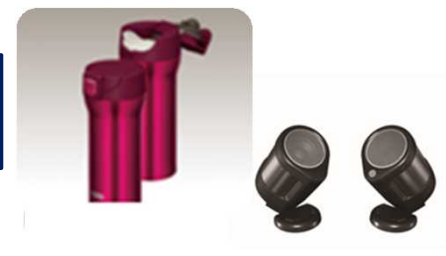
アジアガス事業

- 中国、フィリピンで実施した構造改革の効果発現により、収益改善を見込む
- 成長市場で新規需要を取り込んでいく



その他事業

- サーモス製品で円安により仕入単価が上昇するも、新製品の拡販を目指す



2016年3月期 通期連結業績予想

単位：億円	15年3月期 利益率	16年3月期 (予想) 利益率	前期比 増減率
売上高	5,593	6,500	+906 +16.2%
営業利益	352 6.3%	410 6.3%	+57 +16.2%
経常利益	342 6.1%	393 6.0%	+50 +14.6%
当期純利益	207 3.7%	240 3.7%	+32 +15.6%

- Matheson Tri-Gas社（米国）、LeedenNOX社（アジア）の決算期変更により売上高+500億円、営業利益+30億円の影響あり

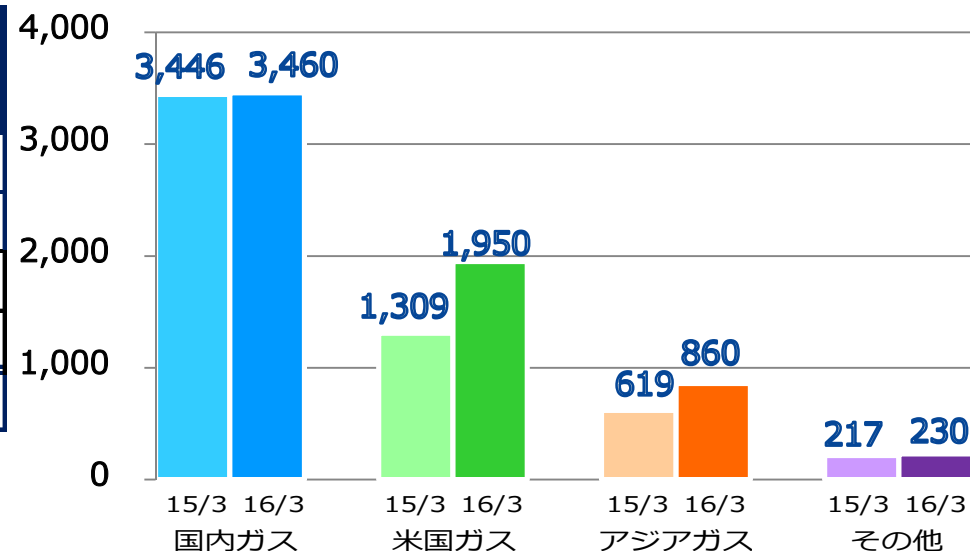
2016年3月期業績予想

【売上高】

単位：億円

	15/3月期	16/3月期	増減率
	通期	通期	
国内ガス事業	3,446	3,460	+0.4%
米国ガス事業 ※	1,309	1,950	+48.9%
アジアガス事業 ※	619	860	+38.7%
その他事業	217	230	+5.7%
売上高 計	5,593	6,500	+16.2%

【売上高】

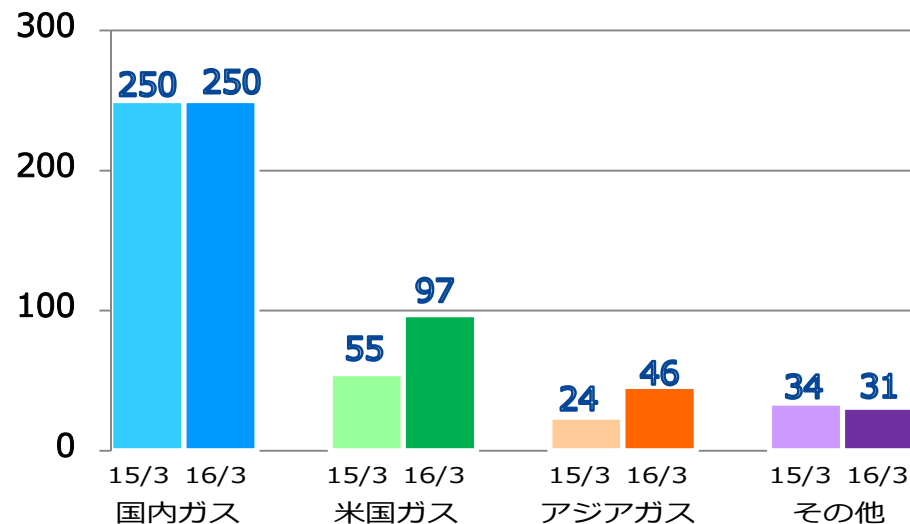


【営業利益】

単位：億円

	15/3月期	16/3月期	増減率
	通期	通期	
国内ガス事業	250	250	+0.0%
米国ガス事業 ※	57	97	+67.4%
アジアガス事業 ※	24	46	+86.3%
その他事業	34	31	△ 9.8%
消去又は全社	△14	△14	+3.4%
営業利益 計	352	410	+16.2%

【営業利益】



※Matheson Tri-Gas社（米国）、LeedenNOX社（アジア）は決算期変更により15カ月分計上

目次

1. 2015年3月期 通期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2016年3月期 通期連結業績予想
5. 中期経営計画 進捗状況



中計進捗状況（1）

● 中計初年度はほぼ計画通り進捗

単位：億円

Ortus Stage 1

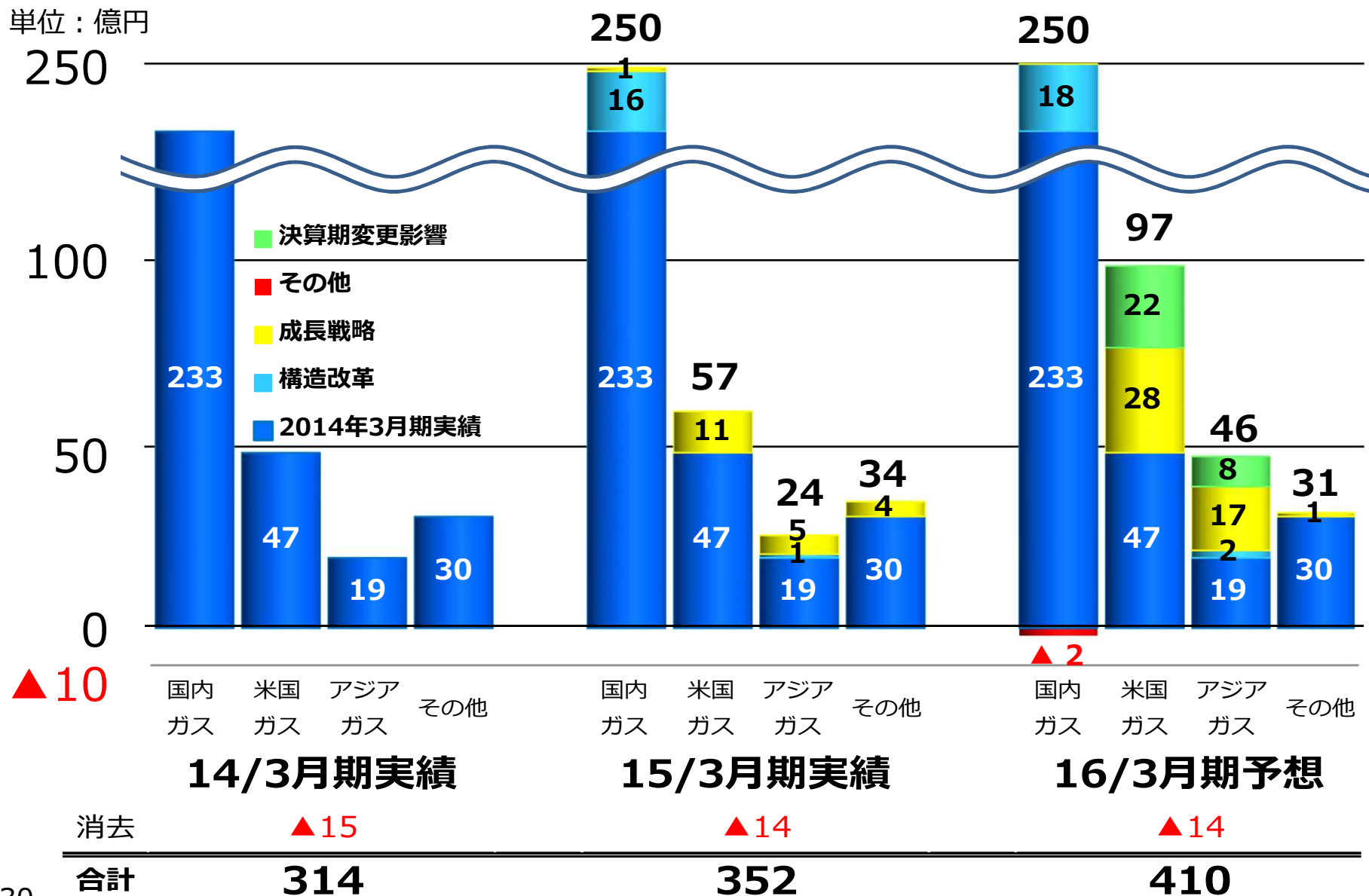
	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
	実績	実績	予想	計画
売上高 (当初計画差)	5,227	5,593 (+93)	6,500 (+800)	6,000 (+0)
営業利益 (当初計画差)	314	352 (+2)	410 (+30)	450 (+0)
営業利益率	6.0%	6.3%	6.3%	7.5%
海外売上高比率	31.4%	35.0%	43.8%	40.0%
ROCE	6.2%	6.2%	6.8%	8.0%

- 15年3月期は売上高、営業利益ともに予算を達成。
- 16年3月期は子会社の決算期変更影響（売上高+500 営業利益+30）を除くと売上高は当初計画より上振れ、営業利益は当初計画通り。
- 17年3月期は成長市場への積極投資および構造改革の推進により、計画達成の見込み。

中計進捗状況（2）

【セグメント別営業利益増減内訳】

単位：億円



構造改革

- 2015年3月期は本体で早期退職を実施
- 2016年3月期は引き続き人件費削減、サプライチェーンの強化等を推進

単位：億円

施策	収益改善額	
	15/3 実績	16/3 予想
国内の人件費削減	12	13
サプライチェーンの強化	3	4
その他国内事業の合理化等	1	1
海外事業の合理化	1	2
合 計	17	20

※ いずれも2014年3月期からの増減数値



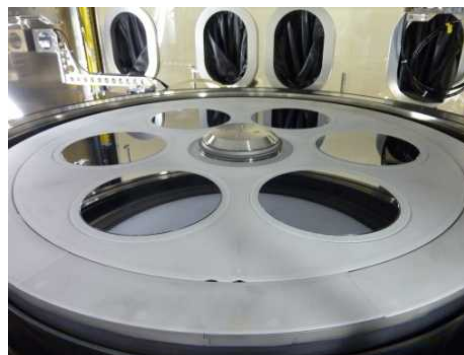
イノベーション

【新規事業の推進】

商 材	進 捗 状 況
水素ステーション	・ 2014年3月期 3件、2015年3月期 9件受注 ⇒今後も移動式水素ステーションを中心にシェア3割を狙う
水-18O	・ 2015年4月に周南の3号プラントが竣工、秋頃製品出荷予定（年産300kgから600kgへ） ⇒圧倒的な供給体制とコスト競争力によって事業拡大を図る
MOCVD装置	・ サンディア国立研究所（米国）、Epistar社（台湾）に納入 ⇒グローバル展開をさらに強化
その他新規商材	・ クライオライブラリー®アドバンス、 高純度水蒸気発生装置（Rasirc）等

【三菱ケミカルホールディングスとの協奏】

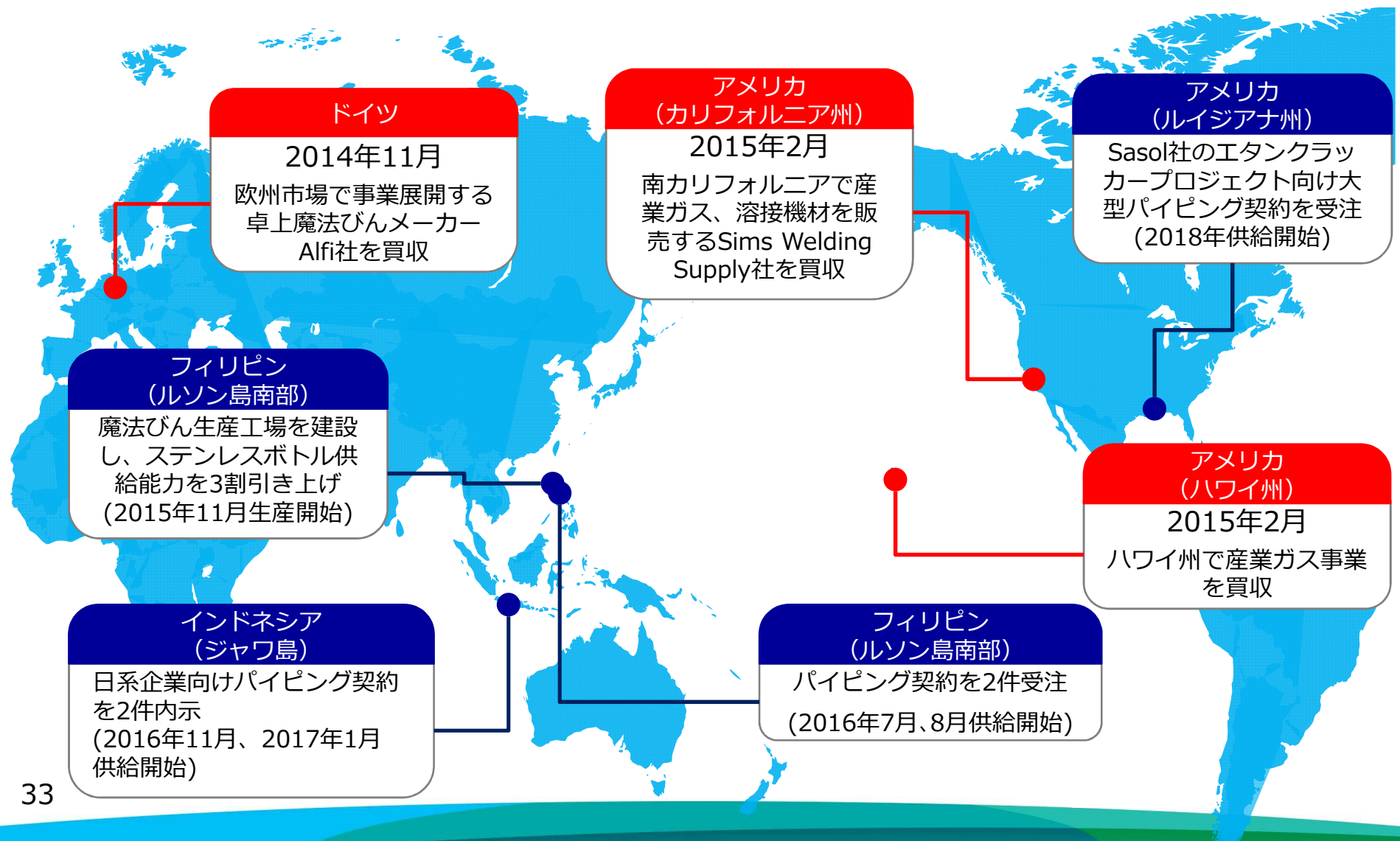
テーマ	取 組 状 況
ガスソリューション ビジネス	エレクトロニクス、R & D、ガスアプリケーションについて各事業会社と連携
ヘルスケアソリュー ションビジネス	再生医療関連テーマにて生命科学インスティテュート、田辺三菱製薬、三菱化学 等と連携



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

グローバル化・M&A (1)

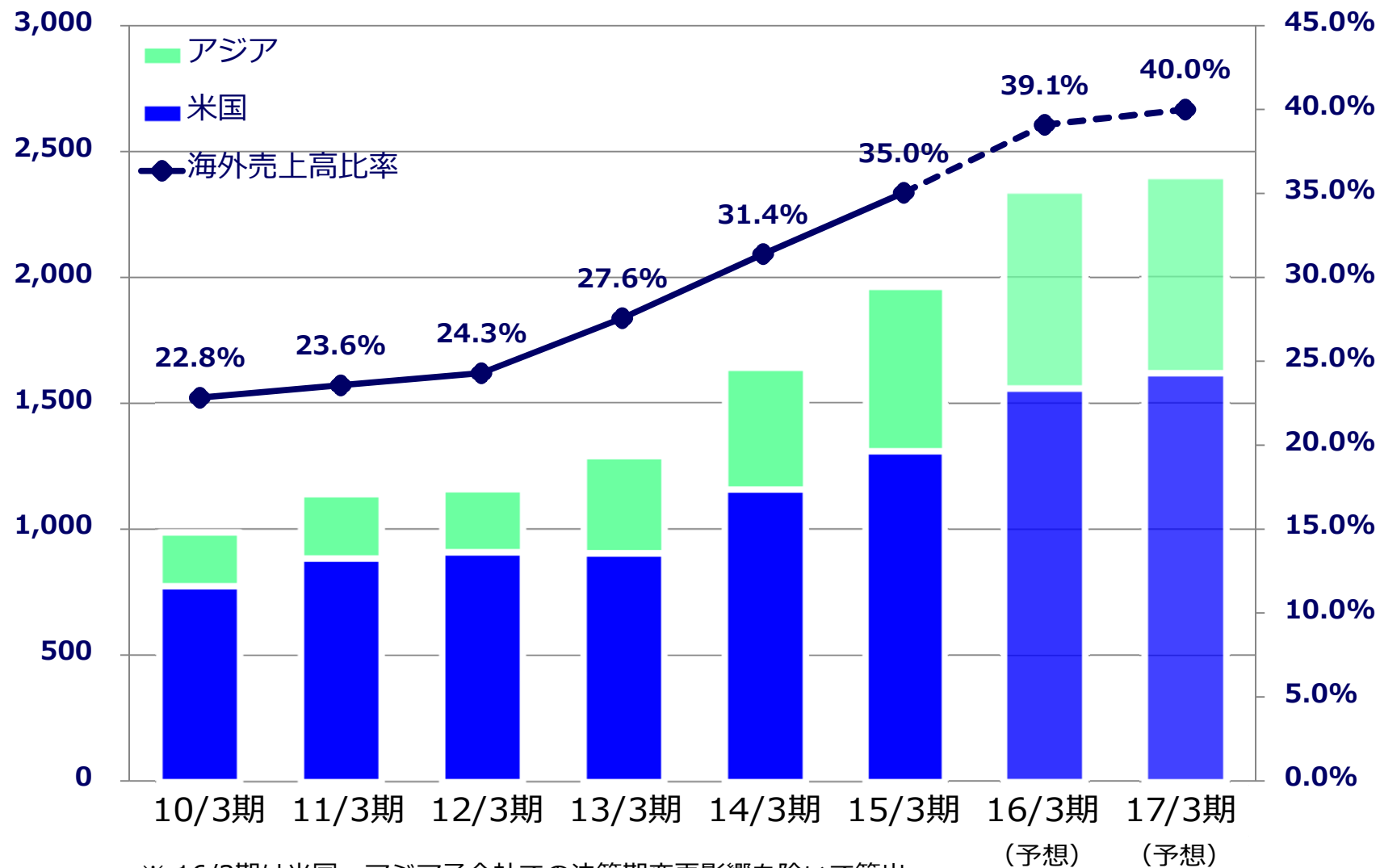
- 今後も未進出地域を含めM&Aの機会を探っていくとともに、ASUの積極投資を実行する



グローバル化・M&A (2)

【海外売上高の推移】

単位：億円



※ 16/3期は米国、アジア子会社での決算期変更影響を除いて算出

注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。

